

園だより



第 10 号

平成30年12月21日

ばんけい幼稚園

子どもの育つ力

菊地香織

2学期は夏から冬へと季節を重ねて、充実した園生活を送った学期です。その中で同年齢や異年齢の子ども同士のかかわり、いろいろな大人とのかかわり、自然とのかかわりなど、園での様々な体験の中で子ども達同士“育ち合う姿”が見られました。

直接かかわりを持って過ごすことだけではなく、いつも自分の周りにいる仲間としてや環境としてたくさんの刺激を受けることがあったと思います。

年少組のあるお弁当の時間では「〇〇くんは嫌いなブロッコリーを頑張って食べているから、私も頑張って食べられるようになりたい！」と挑戦してみようとする姿がありました。また年中・年少組の子どもが運動会で年長児が鉄棒に挑戦する姿を見て「年長組さんみたいにくるくる回れるようになりたいの！だから先生手伝って！」と憧れを持って練習する姿がありました。友だちの頑張りを認め「よし！自分も」という思いや憧れの気持ちから「やってみたい！」「こんな風になりたい！」という意欲に繋がっていったのだと思います。そして年長児も同年齢同士だとトラブルになることでも、相手が年少児だと自分の気持ちを押しえたり、ぐっと我慢してみたりする姿が見られました。また「年少組さん、1学期はよく泣いていたけど泣かなくなったよね。かわいいよね。」など、年下の子を優しい気持ちで見ることが出来るようになりました。年少組は自分より小さいのだから「守らなくちゃ」「かわいい！」など心の大きな成長に繋がったと感じました。

多くの成長も実感できた2学期の経験を大切に、今後も日常のかかわりや学びを一つ一つ積み重ねて、子どもの「こうなりたい！」という思いを見守り、励ましながら応援していきたいと思っています。